

press release

2014年12月8日

(本資料は、ロンドンにて2014年12月2日付で配信したプレスリリースの参考訳です)

スタンダードチャータード 2015 年世界経済予測 アニマルスピリットの再燃が不可欠

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン 最高経営責任者:ピーター・サンズ/在日支店:千代田区 在日総支配人:クリストファー・ナイト)のグローバルリサーチチームは、今般ロンドンにて「アニマルスピリットの再燃が不可欠(Rekindling animal spirits)」と題する経済レポート「グローバルフォーカス」2015 年版を発表しました。同レポートは、2015 年の世界経済成長率が 2014 年見通しの 2.9%から 3.4%に改善すると予測しています。しかし、それには世界経済の先行きに対する信認が極めて重要で、経済指標の改善だけでは不十分だとした上で、現在の世界経済に欠けているものはジョン・メイナード・ケインズが言うところの「アニマルスピリット(血気)」であると指摘しています。それは言うまでもなく、ケインズが「雇用・利子および貨幣の一般理論」の中で述べている「定量的確率を掛けて得られる定量的利益の加重平均の結果として行われるものではなく、不活動ではなく活動を欲する自発的衝動」を意味します。

世界経済が回復しつつあることは確かですが、特に欧米では、その勢いは鈍く、アニマルスピリットも十分ではありません。その結果、2つの問題が浮上してきました。まず、地政学的な問題を含めた想定外の危機の発生が、世界経済が強い場合と比べるとより深刻な影響を及ぼす傾向を見せています。次に、景気政策は効果的ですが、それは新たな大きなリスク要因となる恐れがあります。これまでの景気政策は金融緩和という形で薦められてきましたが、それは 2015 年も継続されると予測しています。

当行マクロリサーチ責任者、マリオス・マラセフティスは次のように述べています。「2015 年については高い成長率と低インフレを予測しています。これは金融市場にとっては明るいニュースです。米国の景気拡大とアジア・アフリカ・中東地域の新興経済圏のレジリエンス(回復力)が世界経済を下支えしそうですが、アニマルスピリットの欠如は深刻です。世界経済の回復が勢いを増すには世界経済の先行きに対する信認が必要で、その信認を確立させるために政策支援が不可欠です。その意味で 2015 年の大きなリスク要因は政策の失敗です。」

欧州中央銀行、中国人民銀行、それに日本銀行による量的緩和策は継続されると予測しています。金融緩和は経済成長に寄与しますが、特にすでに事実上のゼロ金利政策を導入している国では、緩和策にも深刻な限界があることも事実です。

◇米国

米連邦準備理事会(FRB)が 2015 年に利上げに踏み切り、米国の金融政策が正常化されると予測しています。ただし、正常化のタイミングと方法には慎重を期すべきです。米国の成長率は 2014 年を上回る見通しですが、当行では米国が本格的な回復軌道に乗るには時間がかかると判断しています。特に現在はインフレの兆候が見られませんので、利上げを早まれば米国の景気回復が腰折れしてしまうリスクがそれだけ高まります。

米国の 2009 年半ば以降の成長率は年平均でわずか 2.3%と、2007 年末に始まった金融危機・不況からの回復の勢いとしては、あまりにも低い数字です。当行では、2015 年の米国の成長率はこれまでの 5 年あまりの平均を最終的に上回る 2.8%になると予測しています。

◇ユーロ圏

2015 年のユーロ圏の景気は 2014 年よりは良くなる見通しですが、次の点を考慮に入れておく必要があります。それは、ユーロ圏発足メンバー11 カ国の平均成長率が 2007~14 年は 0.2%と 1929~36 年の大恐慌の 0.3%を下回っていることです。さらに、現在のユーロ圏の 1 人当たり GDP(国内総生産)は 2006 年の水準で推移しています。

そうした状況下では、財政出動が大きな役割を担うべきです。アニマルスピリットが欠如し、低金利にもかかわらず民間投資・家計消費の低迷が続く場合には、政府がモノとサービスの購入(政府最終消費支出)を増やす必要があります。ユーロ圏の財政政策については、過去数年の緊縮型ではなく、景気にニュートラルなものになると予想していますが、劇的な変化は期待できません。

◇中国

中国は、構造変化と景気循環的な向かい風に直面し、当然、新しい経済モデルを模索中です。中国を中所得国に押し上げてきた従来の発展モデルは投資・製造業・輸出に重点を置くものでした。しかし、中国が恐ろしい中所得国の罠を回避するには、国内の消費・サービスに依存する内需主導型の経済モデルを構築しなければなりません。新モデルへの移行期には成長率が下がる可能性があります。中国指導部はそれともいわない姿勢を示しています。2015 年の中国の成長率は 7.1%になると予測していますが、それを下回る可能性があります。

◇インド

インドはアニマルスピリットの欠如と無縁です。2015 年には良い意味のサプライズが期待できるかもしれませんが。当行ではインドの経済指標の改善が 2015 年も続くと予測しています。さらに重要なことは、規制緩和と投資拡大を進める新政権による改革が景気センチメントを大きく好転させている点です。インド準備銀行（中央銀行）に対する信頼が高まってきたことから、インフレ抑制にも進展が見られます。インドでは今後数年、高成長が続く一方で、インフレ率が低下すると予測しています。

◇中東

インドと同様に、中東、なかでもアラビア半島の産油国からなる湾岸協力会議（GCC）諸国でもアニマルスピリットの欠如は見られません。2014 年の GCC 諸国の経済はインフラ支出の増加を背景に活況を呈しました。経済の多様化を積極的に進める GCC 諸国ですが、歳入の多くは未だに炭化水素（石油・天然ガス）収入に依存しています。

2014 年後半の原油価格の急落を受けて、GCC 諸国が財政制約を受けることなく毎年財出を増やしていけるのだろうかという疑問が生じています。恐らくそれは不可能で、財政見直しを迫られるのは必至だと思われます。原油価格については、2015 年に反騰すると予測しています。当行が GCC 諸国で行った顧客調査によると、2015 年の景気については楽観論が支配的でした。アニマルスピリットが高い GCC 諸国の成長率は、緩やかに減速するものの、高水準が維持されると予測しています。

◇アフリカ

アフリカもアニマルスピリットに満ちています。サハラ以南のアフリカでは 2015 年も力強い成長が続くと予測しています。ここ数年来続いている高成長の勢いに変化はなさそうです。さらに、内需主要の成長になっていくと思われます。域内の成長力が高いことから、アフリカは米国の金利上昇がもたらす影響に対応できそうです。ナイジェリア・コートジボワール・ザンビア・タンザニアでは 2015 年に選挙が予定されており、その結果がそれぞれの国に対する信頼と経済活動に影響を及ぼす可能性があります。

詳細につきましては、以下の担当者へご連絡ください

Shaun Gamble
Senior Manager, External Communications
Standard Chartered Bank
Tel: +44 20 7885 5934
Email: shaun.gamble@sc.com

Marios Maratheftis
Head of Macro Research
Standard Chartered Bank
Tel: +971 4508 3311
Email: marios.maratheftis@sc.com

日本語でのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9312
CA.Japan@sc.com

スタンダードチャータード

スタンダードチャータードは約 86,000 名の行員を擁する国際的な金融グループです。世界で最も活気に満ちた市場において 150 年以上の歴史を誇ります。グループの収益の約 9 割を占めるアジア・アフリカ・中東地域において、ダイナミックな投資・貿易、そして資産形成を行うお客様を対象に、ビジネスを展開しています。当行のブランドプロミスである「Here for good」は、その伝統・企業価値を反映しています。スタンダードチャータードはロンドン証券取引所・香港証券取引所・ムンバイ証券取引所・インド国立証券取引所に上場しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した 1880 年にさかのぼり、2015 年には 134 年目を迎えます。日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループ HP(英語)

<http://www.sc.com>

スタンダードチャータードグループ facebook(英語)

www.facebook.com/standardchartered

スタンダードチャータードグループ Twitter アカウント

@StanChart

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(日本語)

<http://www.sc.com/jp>

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(英語)

<http://www.sc.com/jp/en/>